

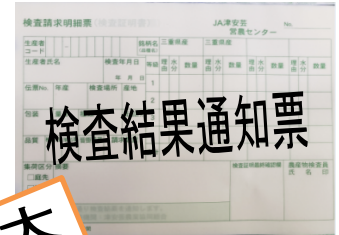
いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

いよいよ米の収穫時期！

農産物検査結果から改善へ繋げよう！

玄米の農産物検査とは

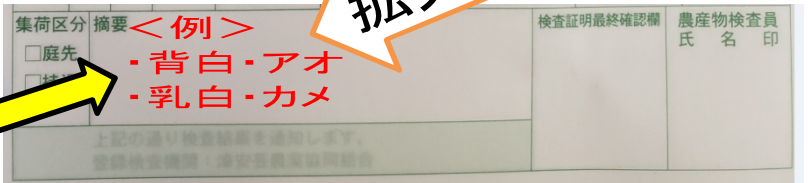
玄米は農産物検査により1等、2等、3等、規格外のいずれかに格付けされます。  
等級を決定する要因は様々あり、気象・病害虫・物理的な要因などから  
玄米の形質・外観変化・異物混入・水分含有率などが影響します。



拡大

ここを見て！

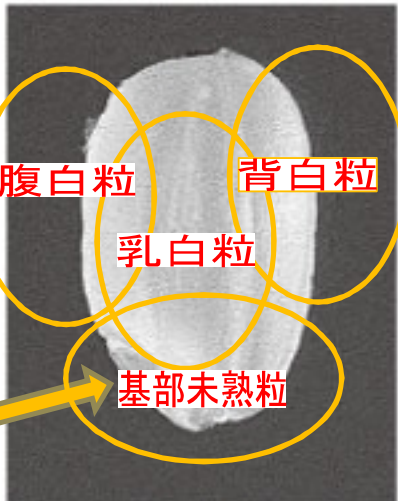
1等ではなかった時には、  
主な理由が書いてあります。



検査結果を確認して、次作の対策に繋げよう！

等級低下の主な要因と対策をまとめました。

白系の未熟粒



発生要因

- ・登熟期以降の高温障害(乳白は、低温障害でも)
- ・登熟期後期の窒素不足(背白、基部未熟粒)
- ・籾数過剰
- ・早期落水
- ・倒伏など

対策

- ・登熟期に葉色の低下を防ぐ。(耐暑肥など)
- ・登熟期の水管理で温度を下げる。
- ・深耕し根域を深くする。
- ・作付品種の検討(コシヒカリ以外をチャレンジ)

着色粒<部分着色粒>

発生要因

- ・カメムシ類による穂の吸汁
- ・センチウによるくさび形の斑紋

対策

- ・畦畔・農道・休耕田の草刈りを行いカメムシの発生密度を下げる。
- 防除は穂揃い期とその7日後の2回を目安に行う。

胴割粒

発生要因

- ・刈り遅れ
- ・乾燥と吸湿の繰り返し

対策

- ・適期収穫
- ・適正な乾燥

※他にも被害粒・未熟粒・着色粒がありますので、  
最寄りの営農センターへご相談ください。